



種蒔きに最適な季節

4月は種まきに最適な温かい季節。この時期、種蒔きはもちろんだが、昨年の10月半ばから11月にかけて定植した六条大麦の刈り取りも行った。大麦の粒が六列あることから六条大麦という名前の由来を知り、作物を育てることから様々な学びを体験する。各野菜のリーダーが作業の手順を考え、その野菜の担当者たちまた場合によってはメンバー全員で、天地替え・土づくり・畝作り・種蒔きなどを進めていく。4月に蒔いた野菜の種は、ごぼう・小松菜・ほうれん草・春菊・サニーレタス・蔓無しインゲン・トウモロコシ・葱・大根。苗で植え付けた野菜は、さつまいも・なす。種芋の植え付けが里芋・こんにゃく。



玉葱畑の様子

玉葱は葉が倒れたら収穫可。



きちんと測って、しっかり植え付け

全員で畝作りをした後、さつまいもの苗を最低120株植え付ける。作業はさつまいものリーダーが中心となり、皆で協力して進めている。写真（上）は予め準備しておいた苗を皆で植え付けているところ。



そら豆の様子

昨年の10月に定植したそら豆が元気に育っている。無農薬で育てているため、アブラムシの除去には水や手で行う。天塩にかけたそら豆は空を向いているものもあり、収穫までもう少し待とう。